

## 大会参加報告

### 平成 28 年度 全国高等学校総合体育大会 サッカー競技 大会参加報告

----- 「高校総体参加報告」 サッカー2 級審判員：中本 早紀 -----

まず初めに、昨年に引き続き今年も研修審判員として全国総体に参加させて頂けたことを、関わっておられる全ての方々に感謝したいと思います。ありがとうございました。

#### 担当試合

7月29日(金)

北海道文教大学明清高等学校女子サッカー部 対 広島文教女子大学付属高等学校

主審：梶山 芙紗子氏      副審 1：中本 早紀  
副審 2：善福 梨央氏      第 4 審判：西川 万絢氏

7月30日(土)

星槎国際高等学校 湘南 対 岡山県作陽高等学校

主審：松浦 波瑠夏氏      副審 1：中本 早紀  
副審 2：赤木 陽美氏      第 4 審判：善福 梨央氏

#### 試合から学んだこと

今年、副審 1 として 2 試合を割り当てていただきました。

その中で、私の課題となったのが、主審とどのように協力していくかということです。普段、主審をする際には、もちろん副審との協力を意識して入っているつもりでしたが、いざ自分が副審の立場になると、自分自身では気がついていないことがたくさんあることを痛感しました。嬉しいことに国際審判員の方とチームを組ませていただいたときには、私の判断やフラッグアップのタイミングでは主審の方のスピードについて行くことができず、たくさん負担をかけてしまいました。しかし、試合中にも関わらずハーフタイムの間に課題を指摘していただき、試合中にそれができれば OK サインを出して頂くなど、1 試合を通して主審とはどうあるべきかということ、身をもって教えていただきました。

また、公式戦で初めて試合後のペナルティーマークからのキックを経験しました。競技規則の改正により、ゴールキーパーに警告を与えるかどうかがかかってくる重要な見極めをせねばならずとても緊張しました。しかし、主審とアイコンタクトを取りながら一つずつ丁寧に見極めていくことで、落ち着くことができ、間違いなく進めることができました。

2 試合を通して 1 級審判員の方々の判定の正確さや走力、マネジメント力など素晴らしいレフェリングを間近で体感することができ、とても良い刺激になりました。

## ●● 研修会から学んだこと

オフサイドの判定についての研修が最も興味深かったです。

普段副審をしているときは、自分の中で際どい飛び出しのような気がし、難しい判定だと感じたものはオフサイドとして判定していました。しかし、映像で確認してみるとそういう場面ではほぼ100%の確率でオンサイドであることがわかりました。その映像を目の当たりにしてから、実際に試合の中で自分が迷いそうなときにも、慌てず余裕を持って判定することでナイスプレーに繋がった場面もありました。

また、インストラクターの方のお話を聞いて審判員として試合に関わることがどれほど責任のあることかを改めて感じました。そして選手達がフェアでタフなプレーをすることができるように、私たちは最大限の努力をし続けていかなければと思いました。

## ●● 今後の目標

- ①根拠のある判定ができるようにさらに経験を積む。
- ②サッカーについてもっと知る。
- ③いつか1級審判員になれるように頑張る。



### ―― 「平成28年度 情熱疾走 中国総体に参加して」 サッカー2級審判員 金淵佑亮 ――

はじめに、インターハイという素晴らしい大会に派遣していただき本当にありがとうございます。

兵庫県サッカー協会並びにお世話になった大会関係者の方々に御礼申し上げます。研修審判員として、広島県で開催された平成28年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技【男子の部】に7月25日（月）から7月29日（金）の5日間参加させていただきました。この場で報告をさせていただきます。

## 【1日目】

日時	内容	
7月25日 (月)	12時30分	広島ダイヤモンドホテルに集合
	13時00分	開講式
	13時10分	競技規則テスト
	14時20分	研修試合会場に移動(山陽高校)
	15時00分	研修試合
	17時40分	ホテル到着
	18時30分	夕食
	19時30分	研修会
	21時30分	研修会終了
研修試合	主審・第四の審判	

## 【感想】

開校式では、木島栄チーフインストラクターより、「皆さん良い準備をしてくれていると思うので、高校生たちのために一役買えるよう最高のサポートをしよう」というお言葉をいただきました。

研修試合では、主審と第4審をさせていただきました。緊張のせいで開始1分から息が上がり切ってしまうととても苦しい中でのレフェリングとなってしまいました。どのゲームも1つの割り当てだと思うことで極度の緊張はしなくなると感じるので、今後は気をつけていきたいです。

主審の反省会では木島insより、「攻守の切り替えは良かったのでこれからもチャレンジするように、アウトオブプレー時にしんどそうな顔に見えるので一呼吸一呼吸落ち着いていくように」とアドバイス頂きました。

研修会では、柏原文二insより、「2016/2017競技規則の改正」についてご説明があり、PK、オフサイド、三重罰などについての確認を行いました。

名木利幸プロフェッショナルレフリーより、「副審としての心構えについて」お話があり、ゴールインした時にAR1はベンチが控えているのでそのチームの損得によって走り方を変えるや名木さんはオフenseファウルとディフェンスファウルによって旗の振り方を変えておられており、自分自身も副審をする時に工夫をしていかなければならないなと感じました。最後に梅本博之ins、廣嶋禎数insより研修試合の振り返りが行われました。

## 【2日目】

日時	内容	
7月26日 (火)	6時15分	モーニングトレーニング
	6時30分	朝食
	8時15分	プラクティカル会場に移動(廿日市グリーンフィールド)
	9時00分	プラクティカルトレーニング(3班に分かれて)
	12時00分	昼食
	12時20分	研修試合会場へ移動(広島皆実高校)
	13時15分	研修試合
	17時00分	ホテル到着
	18時00分	夕食
	19時00分	研修会
	21時00分	研修会終了
研修試合	副審1	

## 【感想】

3班に分かれて、オフサイド・PK・カウンターアタックのポジショニングのプラクティカルが行われました。オフサイドでは、出所を見てオフサイドを見極め良いタイミングでフラッグを上げることを意識しながら全体で取り組んでいました。PKでは侵入の監視もしながら、ゴールキーパーの飛び出しも副審と確認しなければいけないので、改めて難しいなと思いました。ゴールが入ってるのに副審がゴールキーパーの飛び出しでフラッグアップをしようとするので、副審もしっかりと状況判断をしなければならないなと感じました。カウンターアタックのポジショニングでは、副審サイドに争点がある時に、その方ばかり見てしまうとレフリーサイドで何か接触が起こった時に何が起きたか把握できないので、しっかり体の向きも考えながら争点を視野に入れなければいけないなと痛感しました。

研修試合では副審1を務め、柏原丈二insより、フラッグアップのタイミングが良かったとお言葉を頂きました。

夜の研修会では、1級審判員が合流しました。改めて開講式が行われ、日本サッカー協会審判委員長小川佳実氏より、「なぜルールが変わったのか自分なりに解釈すること」、全国高体連サッカー部審判委員長抱山公彦氏より、「高校生たちが良い大会だったと帰れるように」との挨拶がありました。今年度より大幅にルールが変わりましたが、私は少しでもずるいプレーや不正が生まれないように変更されたのではないかなと感じております。

木島栄insより、「動きとポジショニング」という今大会のテーマが発表されました。

1. 動きとポジショニングを意識する 2. 説得力のあるポジショニングでの確かな判定 3. 攻守切り替え・加速・寄せ・見極めを発揮する 4. プレーに邪魔にならない 5. 高校生年代の能力を発揮させるゲームコントロールに努める 6. 信頼を勝ち取る→大会成功に繋がるというお話がありました。

武田進insより、「決定的な得点の機会の阻止」の講義があり、正しい判定を行うためには、予期・予測に距離と角度を意識した動き、状況判断・勇気を持って決断というお話がありました。その後、柳元良文insによる「ハンドリング」の講義があり、なぜサッカーは手を使ってはいけないかという所から、元々サッカーは手を自由に使えるスポーツだったといことを初めて知りました。

最後に、前日同様に梅本博之insと廣嶋禎数insより研修試合の振り返りが行われました。

## 【3日目】

日時		内容
7月27日 (水)	6時00分	モーニングトレーニング
	6時15分	朝食
	7時20分	試合会場に移動(東広島公園陸上競技場)
	10時00分	第1試合開始
	12時00分	第2試合開始
	14時00分	第3試合開始
	17時40分	ホテル到着
	18時30分	夕食
	19時30分	研修会
	21時30分	研修会終了
担当試合	会場: 東広島公園陸上競技場	
	1回戦 12時 KO 佐賀東高校 vs 尚志高校	
	R 金淵佑亮 A1 西山貴生氏 A2 宮地克典氏 4th 栄永英貴氏	
	ins 並木克之氏	

## 【感想】

1 回戦の主審割り当てを頂くことができ、感謝の気持ちを持ちながらチャレンジの姿勢を持って試合に臨みました。酷暑の中でしたが、70 分間動きの質を落とすことなく走って近くで判定していきました。

並木克之 ins からは、チャージングの判定で取れたり取れていなかったりしていた部分があったので、肩で背中についてないかを角度をつけて見にいき、判定の精度を上げるようにとアドバイスを頂きました。また、繰り返しの警告はその試合をコントロールするためのものであり、後半で繰り返しの警告を出すのであればその行為自体を罰するべきだというアドバイスも頂きました。

夜の研修会では、各会場ごとに振り返り、共有事項などを確認しました。

山本 ins の「ペナルティーキック」の講義では、2 つの大きな改正点の「境界線上での反則での PK (フィールド外でプレーの一環として)」と「キーパーへの警告」の説明があり、また PK 方式中に 1 人減った場合の対応の確認をしました。

徳永智昭 ins より「タックル」の講義では、映像を見て、自分たちの中で判断するということが行われました。

角山勝洋 ins の講義では、「協力」という題でお話があり、初めて組むチームの時はしっかり確認を行う、副審のファウルサポートの意味は、正しい判定⇒主審のコントロールであるということをお話を聞いておきたいです。副審も第 4 審判も予期予測をする、判断をする。それが下記に繋がることです。

カ

協力 → 十 カ カ 力

最後に木島栄 ins より振り返りが行われました。

## 【4 日目】

日 時		内 容
7 月 28 日 (木)	6 時 00 分	モーニングトレーニング
	6 時 25 分	朝食
	7 時 20 分	試合会場に移動(呉市総合スポーツセンター)
	10 時 00 分	第 1 試合開始
	12 時 00 分	第 2 試合開始
	15 時 30 分	ホテル到着
	18 時 00 分	研修会
	19 時 00 分	研修会終了
	19 時 30 分	懇親会
	21 時 00 分	懇親会終了
担当試合	会場: 呉市スポーツセンター多目的グラウンド	
	2 回戦 12 時 KO 日本航空高校 vs 京都橘高校	
	R 長峯滉希氏 A1 金淵佑亮 A2 森田靖生氏 4th 倉橋健二氏	
	ins 山本弘之氏	

## 【感想】

タッチアウトの旗は落ち着いてあげられていて、意識できたいたとお言葉をいただきました。リスタートの動きを早くすればいいので、今後も意識していきたいです。

主審を務められた長峯さんは栃木県所属の同じ 2 級審判員ですが、スプリントも速く、クーパー走では 3600m を走ることができるなどのとても高いフィジカルを持っておられました。このような高いフィジカルがレフェリングに余裕が生まれ、70 分間考え続けることができおられたのではないかと感じました。

各会場ごとに振り返り・共有事項を確認しました。

黛俊行 ins の講義では、4つの映像を見て共通点を見つけ、3人のグループで目を閉じて3分間ディスカッションをしました。見ていなかったら、情報がなかったらイメージが作りだせないから予期予測ができない。いつどのタイミングで危険な所を見るかというお話がありました。また、目を閉じてディスカッションすることはとても新鮮で相手が話し出すタイミングが分からず苦労しました。人は目から80%情報を得ているので、視線は大切だなと感じました。

その後、ホテルの方で全体での懇親会が行われました。他県の若手審判員などとコミュニケーションをとることができました。

## 【5日目】

日時		内容
7月29日 (金)	6時15分	モーニングトレーニング
	6時40分	朝食
	7時40分	試合会場に移動(エディオンスタジアム広島)
	10時00分	第1試合開始
	12時00分	第2試合開始
	14時20分	ホテル到着・ホテル解散
担当試合	会場:エディオンスタジアム広島	
	3回戦 12時KO 履正社高校 vs 日章学園高校	
	R 内田康博氏 A1 金淵佑亮 A2 藤田亮氏 4th 長峯滉希氏	
	ins 松村和彦氏	



## 【感想】

最終日も副審1の割り当てをいただきことができました。研修審判員にとってはこの試合が5日間の締めとなるので学んだことを、より意識しながら試合に臨みました。

松村和彦 ins からは、個のドリブルで攻め上がるチームの時の副審としてのポジションニング（バックステップを用いる）を自分で考えるようにアドバイスを頂きました。

## 【まとめ】

今回、このような貴重な機会を頂きありがとうございました。私にとって初めてのインターハイで、しっかりとこの大会に向けて準備してきた中で、1回戦の主審の割り当てを頂くことができたのはとても良い経験になりました。また、2回戦と3回戦でも副審1の割り当てを頂くことができ、本当に充実した5日間となりました。

選手はこの大会に人生を賭けていて、私たち審判員の1つの笛、1つの旗の責任の重さを改めて感じる事ができました。この経験を必ずこれからの審判活動に繋げていきます。

最後になりましたが、今大会でお世話になった役員の方々、大西審判委員長をはじめ兵庫県サッカー協会の方々へ感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

「平成 28 年度全国高等学校総合体育大会 サッカー競技大会参加報告」  
サッカー 2 級審判員 浅岡 宏考

**【はじめに】**

この度、7 月 25 日から 7 月 29 日まで、広島県内各地で行われました、平成 28 年度全国高等学校総合体育大会に研修審判員として参加させていただきました。

参加報告に先立ちまして、このような全国大会に派遣していただいたのも、日頃、お世話になっております、兵庫県サッカー協会審判委員会の皆様のご指導の御陰だと思っております。この場をお借りして深く感謝を申し上げます。

以下、簡単ではございますが、ご報告をさせていただきたいと思えます。

**【平成 28 年度全国高等学校総合体育大会】**

7 月 27 日から 8 月 2 日まで広島県内各地にて、平成 28 年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会が開催されました。2 級審判員の研修は、7 月 25 日から 7 月 29 日の日程で行われました。今回の研修のテーマは「動きとポジショニング」でした。

**【プラクティカルトレーニング】**

**① オフサイド**

ここでは、映像を撮影しながらのオフサイドトレーニングだったのですが、見返す時間が無かったことからフィードバックされなかったことは残念でした。パスの出所が比較的、副審に近い位置からのオフサイドの判定という場面で、身体の向きや、どのタイミングでどこにフォーカスすれば判定しやすくなるのかを試行錯誤しながら行いました。

APR の名木氏より、フラッグアップの姿勢やタイミングは問題ないが、フラッグアップ時の表情を意識するようにとのアドバイスを頂き、副審も選手やビデオを見る人に見られているという意識をもって担当しなければならないと改めて感じました。

**② ペナルティーキック**

ゴールキーパーの違反へ警告が適用されるといった改正があり、今まで以上に自分が笛を吹いてから混乱してしまうといったことがありました。改めて競技規則のしっかりとした理解が非常に重要だと感じました。

副審としては、大会期間中の基準統一を図るために、プラクティカル前に違反となる基準のディスクッションをし、「ボールが蹴られる前に、ゴールキーパーの両足が完全にゴールラインより前に離れていたら違反。」という共通認識のもと行いました。

さらに、際どいゴールインを合図するためのフラッグアップとゴールキーパーの違反を合図するためのフラッグアップをどのように主審がわかるようにするかといったディスクッションもありましたが、結論としては、試合前の打ち合わせで話し合うのがベストだろうということで落ち着きました。

**③ カウンター時のポジショニング**

争点との距離を縮めることは重要だが、角度や主審の周りの状況を把握せずにむやみやたらに距離を縮めてしまうと巻き込まれたり、主審の背後で何らかの事象が起きたときに見落としてしまうということに気づきました。

ペナルティーエリア内の判定、ペナルティーエリアの中か外かの見極めはスピードを落として動かなければ、誤った判定を下してしまう可能性があるため、良い位置で見るために動き方の質を上げていく必要があると痛感しました。

**[研修試合]**

7月25日@廿日市グリーンフィールド

瀬戸内高校（広島）紅白戦

Ref. 奈良茂樹氏（東海/岐阜）AR1 宇都宮拓氏（中国/広島）

AR2 長峯滉希氏（関東/栃木）4th. 浅岡宏考（関西/兵庫）Ins. 廣嶋禎数氏

Ref. 浅岡宏考（関西/兵庫）AR1 長峯滉希氏（関東/栃木）

AR2 宇都宮拓氏（中国/広島）4th. 渡部裕介氏（四国/愛媛）Ins. 柏原丈二氏

7月26日@廿日市グリーンフィールド

徳島市立高校B（徳島） - 東海大高輪台高校B（東京）

Ref. 久保喜央氏（中国/山口）AR1 浅岡宏考（関西/兵庫）

AR2 増田能大氏（中国/広島）4th. 長峯滉希氏（関東/栃木）Ins. 梅本博之氏

15分という与えられた短い時間の中で、見栄を張って、いつもと違うことをしても上手くいくはずがないので、いかに自分らしいレフェリングをできるかといった意識のもと試合に臨みました。変な緊張感はなく、初めてのレフェリーチームとしても滞りなく運営できたと感じています。

しかし、普段からの課題がここでも現れてしまい満足のいく結果ではありませんでした。中盤から縦パスが出る直前のポジショニング、ショートパスが繋がる時のポジショニングは今期の自身の課題であり、修正するために今以上に意識して考えながらレフェリングしなければならないと改めて痛感しました。改善のために、いつ・どのタイミングで・どこに動くのか・何を見るのか・横へのスプリントを特に意識して今後、レフェリングをしていこうと思っています。

**[全体研修]**

7月25日

**「競技規則の改正について」 柏原丈二氏**

3条、4条、5条、7条、8条、11条、12条、16条の改正点の説明がありました。

中でも、オフサイドで、守備側競技者が負傷のためにゴールラインの外に出たとき、守備側がボールをプレーしたのか、攻撃側がボールをプレーしたのかの見極めは副審がしっかりと行うこと。決定的な得点の機会の阻止では、懲戒罰に迷ってしまった場合は、「警告」を示すようにとのお話がありました。

**「副審としての心構え」 PAR 名木利幸氏**

大会成功のために、「大会に参加している審判員全員がチームとして一枚岩にならないければ、大会は成功しない。割当の不満を表に出さない、腐らない。もし、そうなるようだったら大会に来ない方がよい。」というお言葉が最も印象に残っています。

副審としては、得点後のランニング、得点からみのフラッグアップやシグナルの長さなどを工夫することで試合の雰囲気や副審が創っていく。副審次第でゲームのクオリティが変わるといったことをお聞きし、副審は、主審のサポート以外にもいろいろとやらなければならないことがあるのだと気づかされました。

今後、副審をする中で、私らしい副審を見つけるためにいろいろと試行錯誤を重ねたいと感じました。

## 7月26日

## 「テーマ：動きとポジショニング」木島栄氏

現代サッカーの特徴として、フィールドのどこでボールを奪っても、スピーディーにゴールを目指してプレーが展開される。その中で、コンタクトプレーを、より近くでの確にプレーを見極め、説得力のあるポジショニングで判定するために4つの言葉が紹介されました。

Transition (切り替え)                      Acceleration (加速力)  
Approach (近寄る)                      Ascertain (確認、判定の追究)

ごく当たり前のことかもしれないが、この4つを的確にスピーディーにこなすことが出来ないと判定基準が安定しにくくなると感じました。

## 「決定的な得点の機会の阻止」武田進氏

①予期予測 ②距離と角度を意識した動き ③的確な状況判断 ④決断力  
これら4項目が正しい判定を行うために重要なことだとお話しいただきました。

## 「ハンドリング」柳元良文氏

「なぜ手を使ってはいけないのか」といった観点からサッカーの歴史についてのお話から始まりました。ハンドリングを見極めるためには、選手の「意図」をしっかりと感じて、見極めること、ずるいプレーを許さないこと、サッカーをさせること。これら3つのことを意識して判定することが重要だと学びました。

## 7月27日

## 「ペナルティーキック」山本弘之氏

PK方式時に、退場により、片方のチームの人数が減った場合、もう片方のチームのすでに蹴り終えた競技者を減らすことも可能ということを知りました。

## 「タックル」徳永智昭氏

No foul/ Careless/ Caution/ Dismissal/ の判断を的確に行うことを学びました。

## 「協力」角山勝洋氏

試合前の審判団の握手は「協力の誓い」であり、打ち合わせは「協力の依頼」であるといったお話がありました。

「協力」の漢字を分解して、4つの「力」が足されると「協力」になることは初めて気づきましたし、「協力」は試合を運営する上で非常に重要だと改めて感じました。

## 7月28日

## 「動きとポジショニング」黛俊行氏

何のために動きとポジショニングが必要なのか、それは情報を得て、試合のイメージを主審が割り、それを基に予期予測や気づきを働かせるためだということを知りました。

ボールウォッチャーにならず、どのタイミングで、次の展開を予測することが出来るようになるかの訓練を試合をこなすごとにレベルアップを図りしていく必要があると感じています。

担当試合

7月27日(1回戦)@呉市総合スポーツセンター陸上競技場  
14:00 OOKO 日本航空高校(山梨) - 仙台育英高校(宮城)  
Ref. 道山悟至氏(関西/大阪) AR1 浅岡宏考(関西/兵庫)  
AR2 向井修也氏(九州/鹿児島) 4th. 尾世勉氏(中国/広島) Ins. 黛俊行氏



オフサイドの見極め、レフェリーチームとしての協力は概ね出来ていたとお言葉を頂きました。しかし、私の目の前でのジャンピングアットを、もぐりこみかどうなのかと主審の判断に委ねた場面があったので、副審がもっと見極めることができると良かったとのアドバイスも頂きました。

担当試合

7月28日(2回戦) @呉市総合スポーツセンター陸上競技場  
 12:00 KO 尚志高校(福島) - 流通経済大柏高校(千葉①)  
 Ref. 白石隆晃氏(九州/鹿児島) AR1 浅岡宏考(関西/兵庫)  
 AR2 山本亮平氏(中国/広島) 4th. 山根孝明氏(中国/広島) Ins. 梅本博之氏



オフenseファウルを私がウエイトしてしまったために起こった、ファウルの指し違いがありました。オフenseファウルはアドバンテージが考えられないし、ファウルのやり返しが起きてしまう可能性があるから、主審の位置を確認して、早くフラッグアップする決断の勇気が必要だと感じました。

担当試合

7月29日(3回戦) @呉市総合スポーツセンター多目的グラウンド  
 12:00 KO 青森山田高校(青森) - 鹿島学園高校(茨城)  
 Ref. 清水勇人氏(日本/千葉) AR1 大峡諭氏(日本/長野)  
 AR2 浅岡宏考(関西/兵庫) 4th. 梶川大輔氏(東海/三重) Ins. 山本弘之氏

今大会で初めて1級審判員と組むことにより、2回戦までと違った緊張がありました。しかし、キックオフの笛と同時に緊張は解れ、平常心で試合を担当することが出来たと感じています。

この試合では、オフサイドの判定に関して、レフェリーサイドで、私から奥の方向にタックルするオフサイドポジションの競技者がいたのですが、私が距離感がわからずに一旦ウエイトしてしまい、レフェリーのタイミングと異なるタイミングでフラッグアップをしてしまったシーンがありました。スムーズな判定、選手、役員から不信感を抱かれないようにするためにも、早めにフラッグアップして主審に委ねたほうがよかったとご指摘いただきました。

今回担当させていただいた3試合について、それぞれで主審との協力で課題が残ったので、主審が何をどのタイミングで臨んでいるのかを常に考え、瞬時に察することが今の私には足りていないのだと感じることが出来ました。

## 【おわりに】

この5日間、この大会に参加できたこと、全国大会という場での3回戦までの割当を頂けたことに感謝したいと思います。

同年代や若手の他地域の2級審判、女子1級、1級、そしてPRの方と接することができ、そしてレフェリングを見ることができ、たくさんの刺激を受けました。また関西で活動させていただいている環境の充実さなど改めて感じる事ができました。この研修会に臨むにあたって設定した「見栄を張らない・自分らしく・いつも通りのことをいつも通りにやる」ということは達成できたと感じています。

そして、できることを着実に増やしていき、1つ1つステップアップができるようにこれから努力を積み重ねていきたいと思えます。

今回の経験を糧に、これからの審判活動においても、さらに成長していくことができるように、一生懸命頑張りたいと思えます。

最後になりましたが、今回このような機会をいただくことができたのも、日頃お世話になっております、大西弘幸委員長始め、兵庫県サッカー協会審判委員会の皆様のご指導の御陰だと思っております。改めて心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上



期日	7月30日(土)		7月31日(日)		8月1日(月)		8月2日(火)	
男子/女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
内容	休養日	2回戦	準々決勝	準決勝	準決勝	休養日	決勝	決勝
会場		竹ヶ端運動公園陸上競技場(2) びんご運動公園陸上競技場(2)	広域公園第一球技場(2) コカ・コーラウエスト広島スタジアム(2)	竹ヶ端運動公園陸上競技場(1) びんご運動公園陸上競技場(1)	広域公園第一球技場(1) コカ・コーラウエスト広島スタジアム(1)		エディオンスタジアム(1)	エディオンスタジアム(1)
研修会場		エム・シー福山ビル会議室	(別途連絡)	エム・シー福山ビル会議室	(別途連絡)			
スケジュール	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床
		6:15 モーニングトレーニング (場所:ホテル前)	6:15 モーニングトレーニング (場所:ホテル前)	6:15 モーニングトレーニング (場所:ホテル前)	6:15 モーニングトレーニング (場所:ホテル前)	6:45 モーニングトレーニング (場所:ホテル前)		6:45 モーニングトレーニング (場所:ホテル前)
	6:30 朝食	6:30 朝食	6:30 朝食	6:30 朝食	7:00 朝食	7:00 朝食	7:00 朝食	6:30 朝食
		7:20 ホテル出発・びんご		7:20 ホテル出発・びんご				
		7:40 ホテル出発・竹ヶ端	7:40 ホテル出発・第一球技場	7:40 ホテル出発・竹ヶ端				7:40 ホテル出発・エディオンS
			8:00 ホテル出発・広島スタジアム					
		8:15 会場到着	8:15 会場到着	8:15 会場到着				8:15 会場到着
		8:30 ビッチインスペクション	8:30 ビッチインスペクション	8:30 ビッチインスペクション	8:40 ホテル出発・第一球技場			8:30 ビッチインスペクション
		8:50 第1試合MCM	8:50 第1試合MCM	8:50 MCM	9:00 ホテル出発・広島スタジアム	9:00 福山ニューキャッスルホテル チェックアウト		8:50 第1試合MCM
					9:15 会場到着			
					9:30 ビッチインスペクション			
					9:50 MCM			
		10:00 第1試合	10:00 第1試合	10:00 女子準決勝				10:00 ホテル出発・エディオンS
		10:50 第2試合MCM	10:50 第2試合MCM					
		12:00 第2試合	12:00 第2試合					
					13:00 会場出発			
					13:30 ホテル到着・解散			
		15:00 会場出発	15:00 会場出発					
		15:30 ホテル到着・解散	15:30 ホテル到着・解散					
	18:00 夕食	18:00 夕食	18:00 夕食	18:00 夕食	18:00 夕食	18:00 夕食		
	割当発表	19:00 研修会	19:00 全体ミーティング	19:00 全体ミーティング	19:00 全体ミーティング	割当発表		
		20:00 研修会終了	20:00 全体ミーティング終了	20:00 全体ミーティング終了	20:00 全体ミーティング終了			
備考		研修審判員は、各会場またはホテル帰着後に解散				女子審判員・INS・委員長は宿泊場所をつつ広島ダイヤモンドホテルに移動		